

2004年5月24日

## 東京外国為替市場委員会 第72回会合 議事録

開催日時	2004年3月22日 13:00～15:30
場 所	日本銀行本店 新館9階中会議室
議 長	荻野 哲司
副 議 長	加島 章雄
副 議 長	梨本 忠彦
書 記	川添 敬
委 員	12名 (別紙)

### I. 議長選任の件

梨本副議長より、荻野議長の委員としての任期および議長の任期（1年）が満了することが報告されました。荻野議長から委員に再び立候補する意思が示され、全会一致で承認されました。また、議長についても再び立候補する意思が示され、全会一致で承認されました。

### II. ブローカーによるスタッフィング統計の廃止について

野口オブザーバーより、ブローカーで発生したスタッフィングに関する統計について、近年のスポット仲介取引の減少を主因に、為替仲介に係るスタッフィングの発生が減少し、統計作成による実態把握の必要性が薄れているため、これを廃止することが報告されました。

—— 同統計は、マネー・ブローカーズ・アソシエーションがブローカー各社からスタッフィング発生状況に関する報告を毎月取り纏め、日本銀行に報告してきたもの。東京外国為替市場慣行委員会（本委員会の前身）が作成した旧版のCode of Conduct（イエローブック）第13条6.では、重要性が高い事案について、慣行委員会が説明を求めることができる旨規定されていたことに鑑み、今回本委員会においてその廃止が報告された。

### III. 小委員会活動報告

#### 1. 運営小委員会

野手小委員長より、中島委員が辞意を表明したこと、及び今井委員が教育小委員長について辞意を表明したことが報告されました。これに伴い教育小委員長の選出が行われ、河野委員が立候補し、全会一致で承認されました。また、委員の各小委員会への所属の変更について、以下の通り報告及び提案があり、提案について承認されました。

- ・中島委員が運営小委員会及び Code of Conduct 小委員会から脱退。
- ・今井委員が教育小委員会、市場調査小委員会及び Code of Conduct 小委員会から脱退。
- ・大木委員が教育小委員会から脱退。
- ・川手委員が Code of Conduct 小委員会及び E・コマース小委員会に参加。

なお、前回本委員会において、運営小委員会に取り扱いが一任された「金融市場における業務継続体制構築」に関する検討については、荻野議長より、市場調査小委員会に委ねることが提案され、承認されました。

## 2. 法律小委員会

武田小委員長より、3月19日に開催された小委員会会合において、CLS銀行による為替取引コンファメーション (MT300) 廃止に関して、①ISDA Master Agreement と為替取引、②現状の市場慣行、③1992 ISDA Master Agreement におけるコンファメーションに関する条項、④1998 FX and Currency Option Definitions におけるコンファメーションの定義、⑤CLS銀行への instruction 送信とそのマッチング、等の論点について検討された旨が報告されました。

## 3. 決済小委員会

市川小委員長に代わり、花生委員より、市川小委員長が CLS銀行 Tom Newman氏と面談を行い、CLS銀行による為替取引コンファメーション (MT300) 廃止に伴う影響等に関して意見交換を行った旨が報告されました。

## 4. 市場調査小委員会

加島小委員長に代わり、竹中オブザーバーより、以下の通り報告及び提案がありました。

- 1) EBS社”Prime Broker”の導入を控え、小委員会において検討を行った結果として、「派生的な電子取引スキームに関する諸考察」を作成した。
- 2) 上記諸考察については、海外の各市場委員会に対し送付するとともに、先方の見解を質問することとしたい。また、市場関係者に対しては、EBS社による”Prime Broker”の導入に関する正式リリース後速やかに、本委員会ホームページに諸考察を掲載し、検討の結果を共有することとしたい。

諸考察に対しては、本日の本委員会での議論を踏まえ小委員会で更に検討し、次回本委員会において再度議論を行うことで意見が一致しました。

## 5. Code of Code 小委員会

今回退任することとなった中島委員より、小委員会の方向性及び今後の具体的活動内容について、以下のような提言がありました。

- 1) 小委員会の方向性

- ・会合頻度は基本的に月1回としてとする。
- ・次回の改訂作業の効率化のため、改訂の必要が生じた個所については、速やかに対応し、Code of Conduct（2003年版オレンジブック）に逐次付け加える。その際、英文についても日本語と同時に改訂を行う。

## 2) 今後の具体的活動内容

当面は、①今次改訂において、付記扱いとした個所の本文中への取り込み、②CLS 銀行による為替取引コンファメーション (MT300) 廃止や ACI「The Model Code」の新たな追加項目への対応の必要性、等について検討する。

## 6. NDF小委員会

稲村小委員長より、以下の報告がありました。

- 1) Steering Group Call(2月26日)、Large group Call (2月27日) において、Polling 方法及び内容が確認された。
- 2) 前回小委員会における討議事項に関する照会に対して、ニューヨーク市場委員会から、以下の返答を得た。
  - ・Polling 方法 (rolling 方式と clean up 方式) については、テストポールの結果を踏まえ、再検討の余地について今後話し合う。
  - ・Confirmation Template Valuation Date 決定のための Valuation Relevant City の指定は、今後の課題とする。
- 3) 3月1日より、アジア6通貨 (インドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、コリアン・ウォン、インド・ルピー、台湾・ドル、人民元) についてテストポールが開始され、シンガポール市場委員会より、順調に推移しているとの報告を受けた。

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (3月22日現在)

<委員>

議長	○荻野 哲司	(東京三菱銀行)
副議長・市場調査小委員長	加島 章雄	(みずほコーポレート銀行)
副議長	○梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	○川添 敬	(日本銀行)
運営小委員長	○野手 弘一	(三井住友銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS デイリングリソースジャパン)
教育小委員長	○河野 文彦	(野村証券)
法律問題小委員長	○武田 敬一郎	(三菱信託銀行)
決済小委員長	市川 亨	(みずほ銀行)
NDF 小委員長	○稲村 秀彦	(シティバンク)
Code of Conduct 小委員長	○柳澤 義治	(ステート・ストリート銀行)
E コマース小委員長	○花生 浩介	(ロイヤルバンクオブスコットランド)
	今井 雅人	(UFJ 銀行)
	竹川 雅祥	(メリルリンチ日本証券)
	○伊藤 一雄	(トキョウフォックス上田ハーロー)
	○川手 康弘	(ロイタージャパン)

<オブザーバー>

○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○井上 哲也	(日本銀行)
○寺澤 英光	(東京三菱銀行)
○竹中 浩一	(みずほコーポレート銀行)

(注) 敬称略(順不同)。○は今回出席。